

《教材名》 鳴り物

《ねらい》

個々に合わせた持ち手で鈴の音色を感じる。ひとりずつ個別の物を持つことで、感染予防につながる。

《使い方》

握ったり腕に通したり、個々の持ちやすい方法でフェルト部分を持ち、手を動かして鈴を鳴らす。

《使用した効果》

個々の楽器を所有することで、本人に合わせたものを使用することができた。また、感染防止の一助となった。自分のものを意識し、本人の得意とする方法で自分から積極的に音を鳴らすことができた。

